

NICU退院支援の取組について

NICU退院支援検討の必要性

<課題>

- NICUの恒常的な満床状態と妊産婦の搬送受入困難
 - ・低出生体重児の割合の増加や出産年齢の高齢化等の社会的背景
- 在宅療養等へ円滑に移行できないNICU長期入院児
 - ・1年以上の長期入院児は22人(平成22年5月1日現在)
 新生児仮死、神経・筋疾患、先天異常 等
 医療ケアの必要な児

NICU退院支援モデル事業の取組 (平成22年度～23年度)

総合周産期母子医療センターである都立墨東病院を中心とした
 区東部地域でモデル事業を実施

<NICUからの円滑な退院に向けた支援が目指すもの>

- 長期入院児の円滑な在宅療養等への移行支援
- 児や家族にとって望ましい移行先の実現
- 在宅移行後の児とその家族の安心・安全な療養生活の実現

主な取組 (図1参照)

- NICU入院児支援コーディネーターを中心とした院内の体制づくり
- モデルケースの在宅移行支援 等
- 院内の各診療科間の連携・協働
- 支援に必要な児や家族を早期に把握し支援
- 退院前の在宅シミュレーション等の実施
- 退院前から地域関係機関との調整・連携を行い支援 等

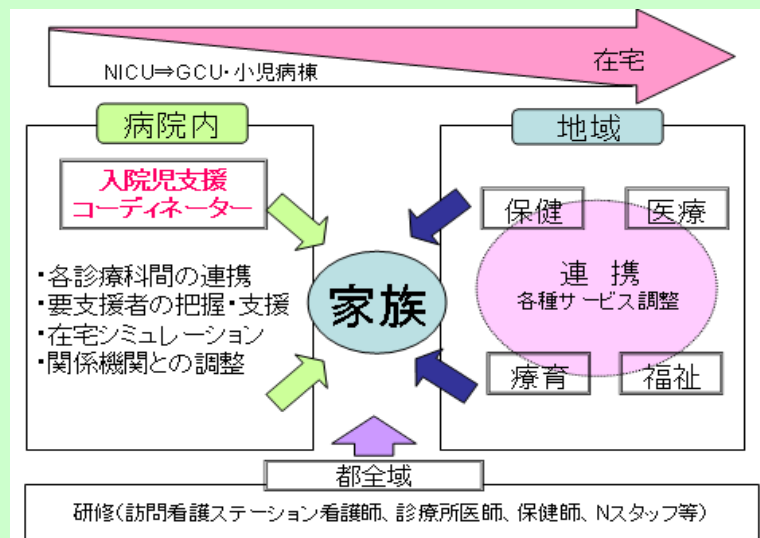


図1 モデル事業の概要(イメージ図)

平成24年度の主な事業

◆ 周産期母子医療センターにおける在宅移行支援体制の整備

NICU入院児支援コーディネーターの配置促進【新規】

- ・周産期母子医療センターにおけるNICU入院児支援コーディネーターの配置に対する支援
 <NICU入院児支援コーディネーターの役割>
 早期からの在宅移行支援
 院内外の調整・連携 等

NICU入院児支援コーディネーター連絡会

- ・目的:各施設の取組の情報共有や退院支援に関わる資質向上
- ・対象:NICU入院児支援コーディネーターや、その業務を担っている看護師、助産師、MSW等

NICU等入院児在宅移行研修事業(NICUスタッフ向け)【新規】

- ・目的:NICU入院児の在宅移行支援に必要な知識・技術の習得の促進
- ・対象:NICU等スタッフ

在宅移行支援病床の設置促進 ※ (図2参照)

- ・NICU・GCUと在宅療養との間に、中間的病床としての「在宅移行支援病床」を設置した場合の運営と整備に対する支援
 <在宅移行支援病床の運営>
 円滑に在宅療養等へ移行するために必要な知識・技術を取得するための訓練等の実施
 在宅移行後に児が急性増悪したときの受入

◆ 周産期母子医療センターにおける在宅移行後の支援体制の整備

在宅移行支援病床の設置促進 (※再掲)

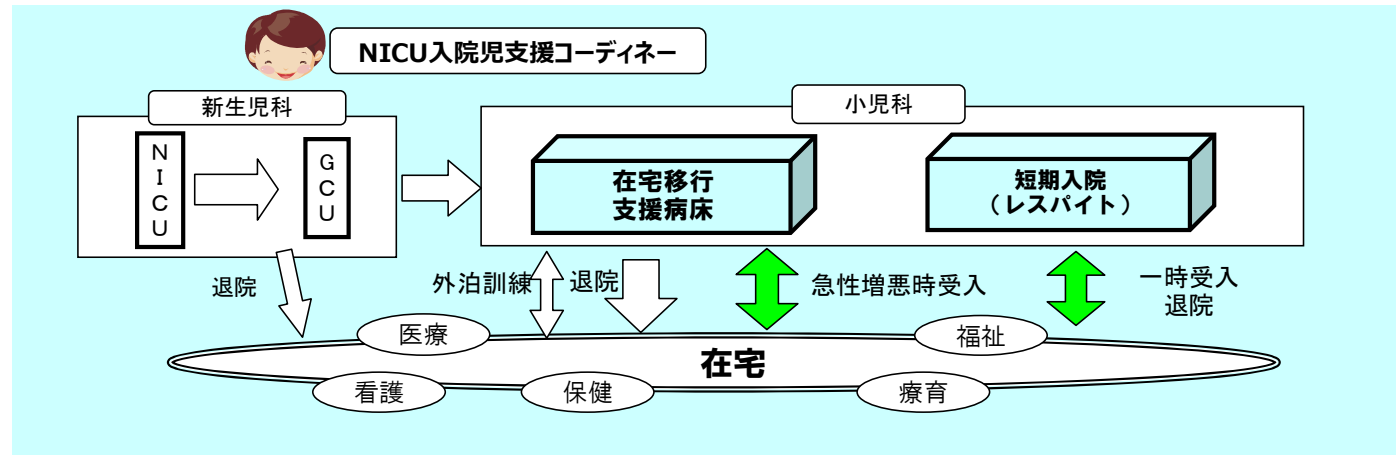
短期入院(レスパイト)の実施促進【新規】 (図2参照)

- ・在宅移行後の児を、保護者の要請に応じて、定期的医学管理及び保護者の労力の一時支援を目的として受け入れを行った場合の支援

◆ 地域における在宅支援体制の整備

NICU等入院児在宅移行研修事業(地域の診療所小児科医師向け、保健師向け)【新規】

- ・目的:NICU入院児の在宅療養を支援する人材の確保・育成
- ・対象:地域の診療所小児科医師
 保健所・保健センターの保健師



円滑な在宅療養への移行支援

在宅療養の継続支援

地域の理解と協力の推進

事業の評価と今後の退院支援の方向性について議論を行う場の必要性

NICU退院支援検討部会(仮)の設置